

公立甲賀病院組合議会報告

松山克子

甲賀広域行政組合議会報告

赤祖父 裕美

3月28日開催
平成28年度第1回定例会
平成28年度当初予算
可決

平成28年度 一般会計予算	2401万円
事業会計予算の収益的収入及び支出	117億1083万円
資本的収入	3億9027万円
(不足する収入額7億2645万円は過年度分留保資金で補填)	
延患者数	入院 12万7750人/年 350人/日
	外来 24万570人/年 990人/日

平成27年度補正予算で入院患者を315人にしましたが、現在の診療単価でも1日35人の増で6億2千万円の収益増になるとのこと。課題の一つは入院収益をいかに増加させられるかです。

3F西病棟に52床の地域包括ケア病棟を設置します。

旧病院解体工事にかかる全体事業費は5億7719万円です。3月に終了し、土地は3億6400万円です。甲賀市に売却されません。

なお、補正予算第2号(診療単価と入院患者の減少では8億円の減額)が上程され、いずれも全員賛成で可決されました。

今後の甲賀病院のありかたについて

公立甲賀病院未来創造委員会からは、課題と方向性で「医療連携体制の構築」「在宅医療・介護との連携強化」「医師、看護師の増員及び育成」「経営形態の見直し」が示され、現行制度より経営の自由度が高く、責任体制が明確である地方独立行政法人化がふさわしい、と答申がありました。

独法化の課題、院内保育園の運営、甲賀看護専門学校現状や病院事業会計の多額の利

益剰余金についてなど、6人から一般質問がありました。



▲2月に議員視察研修を行った加古川中央市民病院

利益剰余金について

執行部から「国の医療費抑制政策や消費税増税もあり、病院経営は厳しい状況です。昨年2億7千万円の赤字であり、来年度も診療報酬増が見込めません。地域住民の医療の質と医師確保のためにも、高額医療機器などの更新が必要なので、現在の利益剰余金は、その財源としたいと考えています。また病院建築などに関する企業債元利償還もあり、病院運営上に必要です」との答弁がありました。

12月22日開催

平成27年度甲賀広域行政組合議会施設視察

平成24年3月に竣工した甲南消防署と平成7年に稼働してから22年を迎え、今後基幹改



▲甲南消防署

修が必要となる衛生センター1第2施設(ごみ処理施設)第1施設(し尿処理施設)を視察しました。



▲衛生センター

今後、湖南中央消防署の建て替えが待たれます。ごみ処理施設については平成28年度から5年間にわたる財政計画を構築し、平成35年度稼働を目標に施設の延命化が図られています。

議案第10号
平成28年度甲賀広域行政組合一般会計予算
 総額37億6699万円となり、前年度当初予算と比較して4億2619万5千円の増額となりました。その要因としては、本年度から2年間かけて実施する高機能指令施設整備、白煙防止用空気予熱器改修及び消防救急デジタル無線整備に係る元金償還が始まることなどがあげられます。ごみ処理施設の維持補修費に約2億5738万3千円の予算が見込まれています。

3月28日開催

平成28年度甲賀広域行政組合議会第1回定例会 議案第7号

甲賀広域行政組合廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定

事業系可燃ごみ処分手数料が10kg180円から220円に改定されました。これによってごみの搬入量の増加抑制効果を見込んでいます。この値上げによって、年間で約5500万円の収入増が見込まれ、ゴミの抑制目標値は年間1万5千t程度とされています。

特に事業系のごみの搬入で、不燃物を混入させないチェック体制の強化や、ごみの減量化のためにも、ハイプレスチックの分別の必要性についての一般質問がありました。